

報道機関各位

長岡市DX推進部長



最先端の生成 AI プログラミングを体感！

AI×図書館ハッカソン@長岡を開催

長岡市は、ChatGPTをはじめとする生成AIの業務利用や、市民や企業を対象とした生成AIセミナーの開催のほか、企業や学生と連携して組織の垣根を超えた実証を行うオープンイノベーション事業など、行政および地域におけるDXに取り組んでいます。

このたび、長岡市出身でAI/ストラテジースペシャリストである清水亮氏をはじめ、首都圏で活躍するプログラマーなどの専門家を招き、AI開発等の専門人材の発掘・育成を見据えた、AI×図書館ハッカソン*を開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

AI×図書館ハッカソン@長岡

- | | |
|----------|---|
| 1 日 時 | 1日目 2月17日(土) 午後1時～5時
2日目 2月18日(日) 午前9時～5時 |
| 2 会 場 | 米百俵プレイス ミライエ長岡5階 イノベーションサロン
(長岡市大手通2-3-10) |
| 3 内 容 | ・参加者(プログラマーや市内学生<高校生・高専生・大学生>など)がチームを組み、図書館の資源を活用し、与えられたテーマに沿った成果物を生成するAIプログラミングを競う
・2日目に各チームが成果物のプレゼンを行い、審査員による審査と表彰を行う |
| 4 審 査 員 | 清水 亮 氏 (AI/ストラテジースペシャリスト、長岡市出身)
遠藤 諭 氏 (IT系編集者、コンサルタント、長岡市出身)
長岡市長 磯田 達伸 |
| 5 参 加 者 | 4チーム 16人(予定) |
| 6 取材について | ・撮影、取材可能なスケジュールは別紙のとおりです。
・2日目の表彰後に、市長などの囲み取材を行います。 |

*ハッカソン プログラムの改良を意味するハック(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた造語。プランナー、エンジニア、デザイナーなどから成る少人数のチームで短期間に集中してサービスやソフトウェアの開発など物事をやり遂げる競技イベント。

問い合わせ：行政DX推進課 川上
DX政策課 穂刈
TEL 0258-39-2205

審査員プロフィール

清水 亮（しみず りょう）

長岡市生まれ。AI/ストラテジースペシャリスト。

2003年に最初の会社を起業し、以来20年で10社の設立に関わり、すべての事業が継続しているシリアルアントレプレナー。

2004年経済産業省より「天才プログラマー/スーパークリエイター」の称号を得る。

AI研究者としてさまざまな企画・技術開発などに携わる。

動画配信プラットフォーム「シラス」にて「教養としてのAI講座」を開講中。

著書に『プログラミングバカー代』（晶文社）、『検索から生成へ 生成AIによるパラダイムシフトの行方』（エムディエヌコーポレーション）、『教養としての生成AI』（幻冬舎）、

『よくわかる人工知能』（KADOKAWA）、『はじめての深層学習（ディープラーニング）プログラミング』（技術評論社）などがある。



遠藤 諭（えんどう さとし）

長岡市生まれ。株式会社角川アスキー総合研究所主席研究員、

MITテクノロジーレビュー日本版アドバイザー。

月刊アスキー編集長、株式会社アスキー取締役などを経て、

2013年により現職。ASCIIJIPなどの媒体に最新テクノロジー

に関する情報発信、およびリサーチ、コンサルティングを行っている。

IPA独立行政法人情報処理推進機構の『AI白書』の企画協力・編集、『AI白書2023』に執筆。耳栓コレクターとして『マツコの知らない世界』に出演。



撮影・取材可能なスケジュール

日程	時間	プログラム（予定）	撮影・取材
2/17（土）	13:00	開会 ハッカソン1日目 開始	—
	17:00	ハッカソン1日目 終了	—
2/18（日）	09:00	ハッカソン2日目 開始	—
	14:00	報道機関向け公開	可
	14:30	ハッカソン 開発終了	可
	15:00	プレゼン→審査→結果発表→表彰	可
		表彰後、市長などの囲み取材	可
	16:00	交流会（16:20頃まで取材可）	一部可
17:00	閉会 ハッカソン2日目 終了	—	